

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		議会研修等事務		担当課 議会事務局
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間 昭和44年度～
	施策	適正な行財政運営の推進		種別 任意の事務
	基本事業	施策の総合推進		市民協働
予算科目コード		01-010101-06 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
議員が、先進的な施策に取り組んでいる市町村を視察研修することで、守谷市の行政運営の向上に反映させるため。	1 委員会等視察研修 1,382,000円 三常任委員会，議会運営委員会，特別委員会，全体研修等 2 委託料 1,756千円 視察研修バス委託料，議員研修時講師派遣委託料
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
行政の課題が高度化，専門化する中，それに対応するため先進地視察などの所管事務調査を積極的に行い，政策立案能力や審議能力の向上を図る。また，他の自治体の現状と比較することで，本市の状況を客観的に判断する。 各委員会所管の調査研究を行い，先進的な考えを学び，地方自治の課題研究に取り組むことにより，行政施策に対する認識を深め，市民のための施策向上も図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
施策を総合的に推進する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
議員が活動するための経費であることから「議員活動費」との統合を検討	先進的な他市の取組みを視察研修し、本市の政策のために反映させることは有意義であり、必要最小限の経費として現状を維持していく。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
研修参加議員数（延べ人数）（人）	78.00	86.00	70.00	80.00	80.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	議会改革は着実に行われてきたことから、全国から当市議会の視察申し込みが増加している。このことから、成果は向上していると考えられる。今後も先進的な取り組みを研修することで、成果の向上に努めていく。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 ■統合 □廃止・終了	他自治体の事例を参考に、議会改革を進めてきたことにより、議会活動が活性化され、全国からの視察申し込みも年々増加しており、全国からも注目されるようになったが、反面、年間の日程が過密になってきており、現状以上に研修を行うことは、本来の議会の業務に支障が出る可能性があることから、現状を維持することが望ましい。また、今後は、「議員活動費」との統合を検討する。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	1,952	2,462	1,759	2,612	2,612
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,952	2,462	1,759	2,612	2,612
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	117.00	0.00	117.00
正職員人件費		0	0	480	0	0
トータルコスト		1,952	2,462	2,239	2,612	2,612

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		会議録作成事業		担当課 議会議務局
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間 昭和53年度～
	施策	適正な行財政運営の推進		種別 法定＋任意
	基本事業	施策の総合推進		市民協働
予算科目コード		01-010101-07 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
地方自治法，守谷市議会委員会条例，守谷市議会会議規則の規定により会議録を作成している。	1 委託料 6,264千円 ①会議録作成 4,775,760円 ・印刷代（本会議） 35円×310頁×4回×10部×1.08＝468,720円 ・印刷代（委員会） 60円×1,400頁×2部×1.08＝181,440円 ・反訳料 20,000円×180時間×1.08＝3,888,000円 ・文書入力料 1,000円×220頁×1.08＝237,600円
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	②会議録検索システム運営 1,488,240円 ・A S P 初期設定料 50,000円×1.08＝54,000円 ・A S P サービス料 64,000円×12箇月×1.08＝829,440円 ・データ加工料 200円×2,800頁×1.08＝604,800円
（参考）基本事業の目指す姿	
施策を総合的に推進する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
法定事務である。ホームページでの公開も定着していきることから、印刷部数は最小限に留め、現状を維持していく。	印刷部数を最小限に留め、現状を維持した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
会議録数（本会議，臨時会）（部）	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
会議録数（委員会）（部）	37.00	23.00	64.00	60.00	60.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	法定事務であり廃止することはできないことから、経費ができるだけかからないように検討しながら、現状を維持していく。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	印刷部数は現在でも最小限に留めており、今以上の縮減は見込めないため。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	4,993	5,313	5,752	5,876	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,993	5,313	5,752	5,876	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	155.00	0.00	155.00
正職員人件費		0	0	636	0	0
トータルコスト		4,993	5,313	6,388	5,876	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		議会広報事業		担当課 議会事務局
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間 昭和51年度～
	施策	適正な行財政運営の推進		種別 任意の事務
	基本事業	施策の総合推進		市民協働
予算科目コード		01-010101-08 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
議会における議案の審議状況や一般質問の内容を市民に周知することを目的に昭和51年から発行している。	1 需用費 1,604千円 ・5月10日号 19.68円×21,000部×1.08＝446,342円 ・8月10日号 17.00円×21,000部×1.08＝385,560円 ・11月10日号 17.00円×21,000部×1.08＝385,560円 ・2月10日号 17.00円×21,000部×1.08＝385,560円 2 委託料 1,854千円 ・議会映像配信業務 143,000円×12箇月×1.08＝1,853,280円
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市議会に対する要望等多様化しており、開かれた議会が求められる中、年4回の定例月議会（臨時議会も含む）ごとに、議会の広報紙の発行や、議会録画映像をインターネット上に配信することにより、市議会の運営・活動状況を広く市民に情報提供することで、市議会への理解と関心を深めてもらう。なお、平成27年度から議会広報紙の紙面構成・内容等についてリニューアルを行い、市民に分かりやすく、見やすい広報紙を作成している。	
（参考）基本事業の目指す姿	
施策を総合的に推進する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
議会だよりをリニューアルしたことにより、以前より見やすく、親しみのある紙面にすることができたが、編集を委員会で行うようになったことから、発行に要する業務量が増えた。 映像配信については、アクセス件数が増えてきており、議会を映像で見ている方の割合は確実に増加しているが、映像機器が老朽化してきており、入れ替えの検討や、また入れ替えに合わせて委員会の配信についての検討も必要となってきた。	議会だよりについては、担当業務の分担の見直しや、編集体制が確立してきたことにより、前年度より効率的に業務を行い、より見やすい紙面づくり務めた。 映像配信については、アクセス数は伸びており、効果は向上している。機器の入れ替え等については、広報広聴特別委員会で検討していくこととなり、次年度に協議することとなった。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
発行部数（部）	21,000.00	21,000.00	21,000.00	21,000.00	22,000.00
映像配信アクセス件数（件）	22,197.00	43,050.00	78,035.00	80,000.00	85,000.00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	議会だよりについては、議会報告会でのアンケート調査結果においても「わかりやすくなった」等の意見が寄せられており、市民から好評の声を多くいただいている。 映像配信業務は年々アクセス数が増加しており、市民の議会への関心が高まってきていると思われる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
■ 拡大 □ 縮小 ■ 維持	□ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	議会だよりについては、現状を維持し、引き続き見やすいわかりやすい広報紙づくりをする。 映像配信については、機器を入れ替え、委員会の映像配信を行っていくこととなれば事業は拡大することとなる。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	2,873	3,409	3,456	3,073	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,873	3,409	3,456	3,073	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	159.00	0.00	159.00
正職員人件費		0	0	652	0	0
トータルコスト		2,873	3,409	4,108	3,073	0

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		オリジナルグッズ管理事業		担当課 秘書課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間 平成 5年度～
	施策	適正な行財政運営の推進		種別 任意的事務
	基本事業	施策の総合推進		市民協働 企画立案への参画
予算科目コード		01-020101-23 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
贈答用の市のオリジナルグッズとして、平成5年度にグラスを作成し、毎年度、種類を見直しながら作成している。	市のPRと愛着・関心を高めるため、オリジナルグッズを作成し、販売する。 また、被表彰者に対して、記念品・謝礼品として贈呈する。 販売については、庁舎1階フロアに見本の展示を行うとともに、購入者の利便性を考慮して、市民協働推進課で販売している。また、イベントや協力店舗で販売を行うことで、オリジナルグッズのPRを進めている。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民及び市外在住者に対し、オリジナルグッズの贈呈や販売をすることで、本市のPRと市民等の守谷市に対する愛着や関心を向上させる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市のPRと市民等に守谷市に対する愛着・関心の向上を図り、市の認知度を高めるとともに、定住人口・交流人口の増加につなげる。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
利用対象者は増加傾向にあるが、シティプロモーションの観点から、新たなグッズの検討を進める。平成28年度に「ママが活躍する“まち”プロジェクト」がスタートしたことから、市内の才能あるママたちに新グッズの企画・製作を委託する。 ※広報活動に関する経費であるため「広報活動事業」への統合を検討。	平成28年度は、シティプロモーションの観点から新たなオリジナルグッズの開発に向け、内容を検討してきた。「ママが活躍する“まち”プロジェクト」と連携し、市内の家具職員とママたちが「WOOD MAGNET」を製作した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
記念品・謝礼品としての利用対象者（人）	112.00	136.00	151.00	175.00	200.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	市ホームページのリニューアルに伴い、オリジナルグッズの掲載方法を改善し、イベントや協力店舗において販売を行っている。オリジナルグッズの見直しや活用方法など検討が必要である。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 □維持 ■改善・効率化 □統合 □廃止・終了	市のPRや市民等から関心・愛着等の向上を図るため、新しいオリジナルグッズの開発と運用方法・販売方法について更なる検討・改善が必要である。				

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	151	55	152
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	18	20	30
	一般財源	0	0	133	35	122
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	78.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	320	0	0
トータルコスト		0	0	471	55	152

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		議会会議等運営事業		担当課 議会議務局
総合計画	政策	信頼に応える行政運営		計画期間 昭和44年度～
	施策	適正な行財政運営の推進		種別 任意的事務
	基本事業	施策の総合推進		市民協働
予算科目コード		- -	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
昭和22年地方自治法施行により議会議務局を設置することができるようになった。守谷市は昭和44年に事務局を設置し、議会議務局を専門に行う職員を配置した。	・定例会議会、臨時議会、全員協議会、各委員会等の運営全般を行う。また、定例会議会、臨時議会前に議案等を確認し、関係書類や次第書の作成を行う。手順については以下のとおり ①議長、委員長等との日程調整 ②関係者への通知 ③議題に関する調査及び資料作成 ④会議開催中は法令や規則に違反した運営がなされないよう注意し、支障が生じた際には速やかにその解決に努める。 ⑤委員会、議員が議案を提出する際には、法令等に照合し、助言する。 ⑥会議録の作成など事後処理事務
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
議会に関するすべての事務を処理して、議会のもつ権能が十分に発揮できるように努める。	
（参考）基本事業の目指す姿	
施策を総合的に推進する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
議会改革が推進されたことにより事務内容に変化が生じたり、業務量が増したため、職員の時間外勤務が増え、人件費が増加した。	円滑な議会運営のために法令の習熟に努めるとともに、事務の効率化を図った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
本会議・全員協議会・委員会開催数	142.00	143.00	156.00	150.00	150.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	人件費を抑制できるよう業務の分担や事務の内容を随時見直し、職員の時間外勤務の抑制を図ることができた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	引き続き議会改革に取り組んでいくが、目標として掲げていた大きなメニューは一通り実施済みであり、今後は新しく取り組みはじめた業務を熟成させつつ、現状を維持しながら議会改革を含め業務に取り組んでいく。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	0	0	0	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	1,369.00	0.00	1,360.00
正職員人件費		0	0	5,613	0	0
トータルコスト		0	0	5,613	0	0